

の大自然を満喫

— 児童・生徒県外研修 —

町では、将来町の担い手となる子どもたちに、様々な土地の自然や文化、生活習慣などを学んでもらおうと、平成4年から毎年、夏休み期間を利用して県外研修を行っています。

8回目となった今回は、多数の応募者の中から抽選で選ばれた小中学生27名が、7月30日から8月1日までの2泊3日の日程で北海道研修を行ってきました。

今月号では、大自然の中でカヌー体験や牧場見学、地元小学生との交流など様々な体験をした子どもたちの感想文を紹介いたします。



新しい友達もたくさんできました



大総小学校6年

西谷優輝



ぼくは、7月30日31日、8月1日と2泊3日で北海道へ行きました。ぼくは飛行機に乗るのが初めてで、とても楽しみにしていました。

そして、31日朝5時50分に集合してちよっとおくらせて、6時10分に出発しました。羽田空港について、飛行機にのりました。まだから下を見ると、山が下の方に見えて、雲も下にありました。初めて見たのでおどろきました。

釧路空港について外に出るとちよっと寒かったです。1日目は、つるを見たり、マリモを見ました。マリモは、大きいもので何千円するものもありました。そして、ぼくらが泊まる場所は、厚岸少年自然の家でした。そこは緑にかこまれて、とてもすずかなところでした。夜は、まくらなげをしたりしてあそび

ました。

次の日、鮭のチャンチャン焼きをつくりました。ぼくらがくろうしてつくったチャンチャン焼きは、とてもおいしかったです。そして次は、初めてのカヌーにチャレンジします。思うようにすすまず、岸につっこんでしまいました。でも、こげるようになるので、楽しくなりました。初めてのカヌーはおもしろかったです。

北海道は、とてもいい場所なので、今度は、家族といっしょに行きたいと思います。



初めてのカヌー体験